



公益財団法人

日本学術協力財団

Newsletter of Japan Science Support Foundation

ISSUE 35, October 2021

# Newsletter



## データベース学会名鑑の データ更新について

財団は、平成23年7月より、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、日本学術会議、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）と連携してデータベース学会名鑑の運用を行っております。

掲載学会は、日本学術会議協力学術研究団体を対象とし、毎年、日本学術会議が行う実態調査を基にデータを更新しております。本サイトは、学協会関係の各種施策の企画・立案等、社会の多方面で活用されています。

現在、日本学術会議が令和2年度に行いました実態調査の結果を掲載しています。

令和3年度調査は、10月下旬より開始する予定です。

各学術団体の関係者の皆様におかれましては、学協会の活動を発信するとともに科学技術情報の効率的な流通を目的として、引き続き、本事業にご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

データベース学会名鑑：<https://gakkai.jst.go.jp/gakkai>



### this issue

データベース学会名鑑について  
学術会議叢書について  
寄附金・賛助会費の所得税控除等について  
日本学術会議地区会議について  
学術関係団体事務支援事業  
出版物のご案内

公益財団法人日本学術協力財団は、賛助会員と助成金・寄付金を拠出いただいた方々のご厚意により、運営されています。

### — 編集・発行 —

公益財団法人  
日本学術協力財団  
〒107-0052  
東京都港区赤坂 4-9-3  
TEL 03-3403-9788  
FAX 03-5410-1822  
URL <http://jssf86.org/>

2021年10月1日発行



## 学術会議叢書 29

# 『人文社会科学とジェンダー』（仮）の出版について

財団では、学術及びその成果を広く一般に普及するため、日本学術会議の部や委員会・分科会において審議された内容や、公開講演会など各種シンポジウムの記録を基に編集を行い、最新の知見を加えて、『学術会議叢書』を刊行しております。

この度、第24期日本学術会議総合ジェンダー分科会における審議内容をはじめ、「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」も含めたジェンダー学全般の最新の動向を、『人文社会科学とジェンダー』と題し、発行いたします（2022年1月発行予定）。

これまで当財団では、『性差とは何か—ジェンダー研究と生物学の対話—』（2008年発行）、『どこまで進んだ男女共同参画』（2006年発行）、『男女共同参画社会—キーワードはジェンダー—』（2001年発行）と3冊のジェンダー関連の叢書を発行し、ご好評をいただいております。本叢書につきましても是非、ご期待ください。

なお、本叢書につきましても、例年と同じく、公益財団法人一ツ橋総合財団から助成をいただき、全国約1,500か所の国公立図書館、大学図書館等に寄贈することになっております。

内容ならびに執筆者は、下記の通りです。

### 【目次】

発刊に寄せて 日本学術会議会長 梶田隆章

発刊にあたって 第24期総合ジェンダー分科会委員長 永瀬伸子

### 第一部 人文社会科学系におけるジェンダー研究の過去と未来

森山由紀子／大串尚代／江原由美子／池田弘乃／永瀬伸子／天野知香／青野篤子／和泉ちえ／  
武田宏子／川橋範子

### 第二部 人文社会科学におけるジェンダー問題

佐藤岩夫／仲真紀子／井野瀬久美恵／室伏きみ子／伊藤公雄

### 第三部 現状と未来

#### 1. 調査に見る研究者の男女共同参画の現状

永瀬伸子／上田貴子／中西祐子／滑田明暢／二神志保／杉田真衣

#### 2. 未来にむけて

Karen Shire／久保南海子／上野千鶴子

(敬称略)



## 寄附金・賛助会費の 所得税控除等について

公益財団法人である弊財団に対する寄附金・賛助会費は、特定公益増進法人への寄附金として確定申告により、税額控除等の税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方の弊財団に対する寄附金及び賛助会費につきましては、確定申告により、所得税の**税額控除**または**所得控除**のいずれかを選択して受けられます。

また、来年1月1日現在、東京都にお住まいの方は、確定申告により、**個人住民税の税額控除**が受けられます。

法人の場合、法人税について、一般寄附金の損金算入限度額とは別枠で、特定公益増進法人に対する寄附金として特別損金に算入できます。算入限度額を超えた分は、一般の寄附金に係る損金算入限度額に算入できません。

本年1月1日～12月31日までにいただいた賛助会費・寄附金につきましては、来年の確定申告の際に必要な領収証等を、本年12月初旬頃から、順次、お送りする予定です。

控除の限度額等の詳細につきましては、最寄りの税務署にお問い合わせください。

## 学術関係団体事務支援事業

【日本農学アカデミー】

11月6日(土)、オンラインにて、シンポジウム「有機農業のいまとこれから—持続可能な社会への貢献—」が開催されますが、財団がその支援を行います。



参加申込はこちら



## 日本学術会議地区会議の 公開講演会開催に対する支援

財団は、日本学術会議の各地区会議が開催する下記の学術講演会について、開催に係る支援を行っています。

これから開催される学術講演会

◎東北地区会議主催

「災害と文明～災害に対する社会の対応～」

2021年10月30日(土)

オンライン開催



参加申込はこちら



すでに開催された学術講演会

◎中部地区会議主催

「高齢社会を生きぬくための取り組み」

2021年7月30日(金)

オンライン開催

◎第三部・中国・四国地区会議主催

「ジェンダー・イノベーション～一人ひとりが主役の研究開発が新しい未来を拓く～」

2021年8月18日(水)

オンライン開催

◎近畿地区会議主催

「カーボンニュートラル：2050年までに何をすべきか」

2021年9月20日(月・祝)

オンライン開催





学術会議叢書最新号  
※お申込みは FAX にて  
03-5410-1822

A5 判、289 頁  
1,980 円 (税込・送料別)  
賛助会員は割引価格  
1,782 円 (税込・送料無)

## 出版物のご案内

※お申込みは FAX にて 03-5410-1822

品切れを除く近刊の書籍については  
Amazon からもお買い求めいただけます。

## 学術の動向



A4 判・本体価格 792 円 (税・送料込)  
年間購読 8,383 円 (税・送料込)  
賛助会員は毎号 1 冊無料配布

21 年 7 月号 特集：理数系教育とジェンダー—学校教育にできること—  
特集：毒性学のこれから—外から見た毒性学—

8 月号 特集：新たな地球観への挑戦  
—地球惑星科学の国際学術組織の活動と日本の貢献—

特別企画：JAPAN PRIZE

9 月号 特集：新型コロナウイルス感染症に対する学術の取り組みと今後の  
課題

## 学術会議叢書

A5 判・本体価格 1,980 円 (税込・送料別)  
賛助会員は割引価格 1,782 円 (税込・送料無)

- |                        |                                 |
|------------------------|---------------------------------|
| 2 科学技術教育の国際協力ネットワークの構築 | 22 地殻災害の軽減と学術・教育                |
| 9 医療事故は予防できるか          | 23 子どもの健康を育むために                 |
| 12 どこまで進んだ男女共同参画       | 24 〈いのち〉はいかに語りうるか？              |
| 16 食の安全を求めて            | 25 IT・ビッグデータと薬学                 |
| 17 ダーウィンの世界            | 26 社会脳から心を探る                    |
| 18 科学を文化に              | 27 持続可能な社会への道                   |
| 20 放射能除染の土壌科学          | 28 日本の食卓の将来と食料生産の<br>強靱化について考える |

## 日学新書

新書判 本体価格 825 円 (税込・送料別)  
賛助会員は割引価格 743 円 (税込・送料無)

- 2 感覚器 [視覚と聴覚] と社会とのつながり



## 公益財団法人日本学術協力財団

〒107-0052 東京都港区赤坂 4-9-3  
TEL 03-3403-9788  
03-5410-0242  
FAX 03-5410-1822  
URL <http://jssf86.org/>

◎ 当財団の運営、ニュースレター等に関するご意見、  
ご要望がございましたら、当財団総務担当までお寄せく  
ださい。

今後の参考にさせていただきます。皆様方のご意見、  
ご要望をお待ちしています。